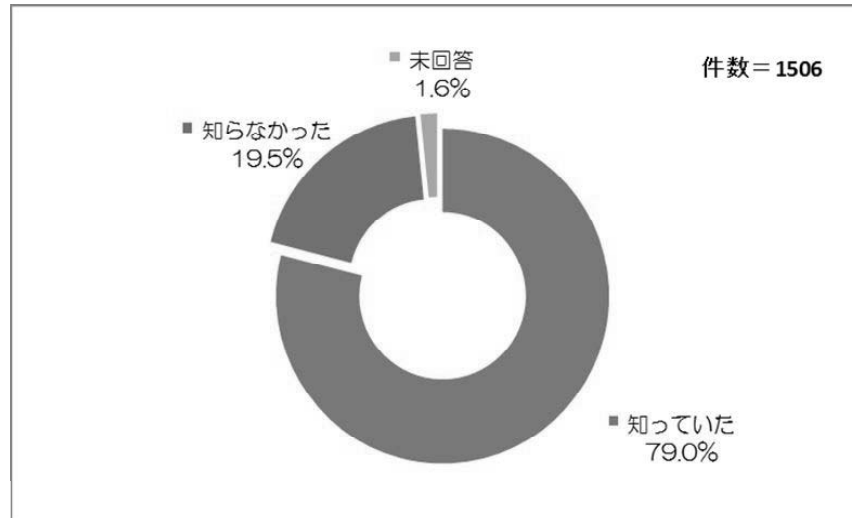


V 都市緑化推進事業について

(1) 都市の緑の公益的機能の認知度

都市の緑にも公益的機能があることを「知っていた」が79.0%

問V-1 都市の緑はヒートアイランド現象の緩和、生物多様性の保全、地震発生時の火災延焼防止などの防災機能の発揮に役立っていることを知っていましたか。(〇は1つ)



都市の緑の公益的機能について「知っていた」と答えた人の割合は79.0%と高く、「知らなかった」と答えた人の割合は19.5%である。

※「都市緑化推進事業」とは、①都市における樹林地の保全・創出を図る取組、②民有地の緑化、③美しい並木道の再生、④県民参加で実施する緑化活動や都市緑化の普及啓発活動などへ支援する事業。

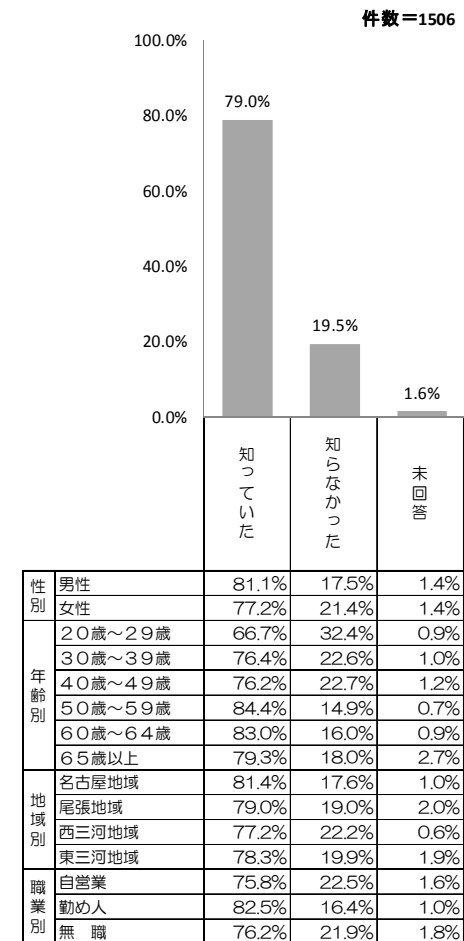
都市の緑の公益的機能の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性（81.1%）が高くなっている。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、50代（84.4%）が最も高くなっている。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、名古屋地域（81.4%）次いで、尾張地域（79.0%）の順に高くなっている。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、勤め人（82.5%）が自営業（75.8%）と無職（76.2%）を抜いて高くなっている。

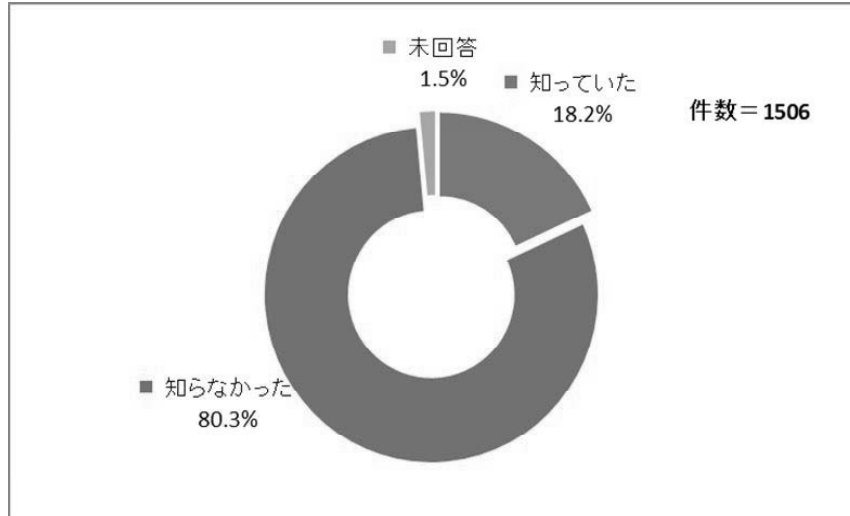


(2) 都市緑化推進事業の認知度

都市の緑を増やす取組を行っていることを「知らなかった」が80.3%

問V-2 あいち森と緑づくり事業を使って、都市の緑を増やす取組を行っていることを知っていましたか。

(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業を使って、都市の緑を増やす取組を行っていることを知っていましたか。の問いに対して「知っていた」と回答した人の割合は18.2%ある。一方で「知らなかった」と回答した人の割合は80.3%と高くなっている。

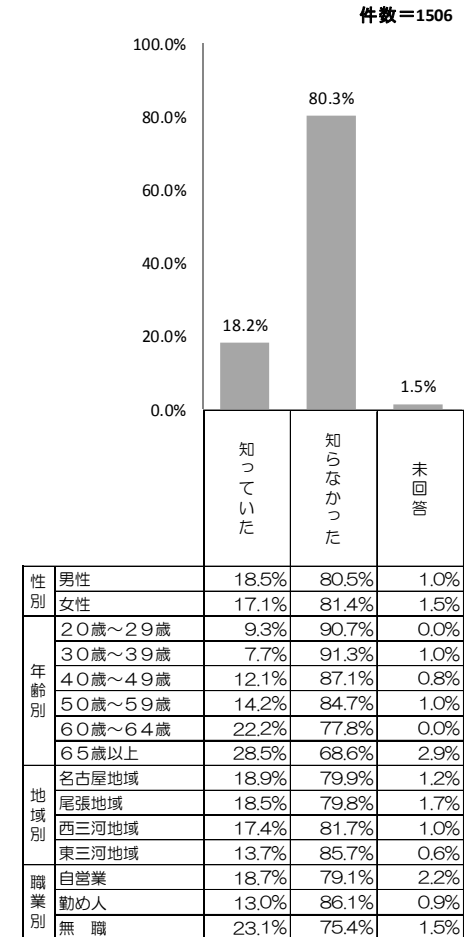
都市緑化推進事業の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「知っていた」と回答した人の割合は男性（18.5%）と女性（17.1%）との差は1.4ポイントである。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と回答した人の割合は30代（7.7%）が最も低くなっている。

◆地域別で見ると、「知っていた」と回答した人の割合は東三河地域（13.7%）が低くなっている。

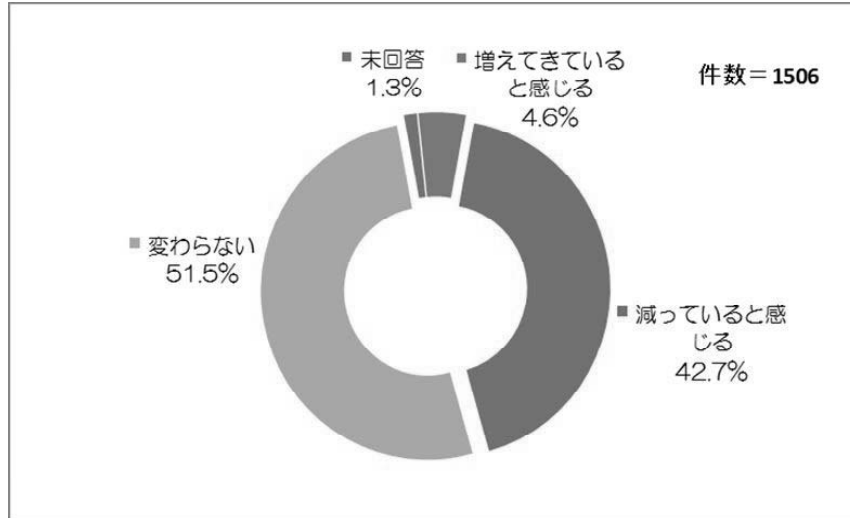
◆職業別で見ると、「知っていた」と回答した人の割合は無職（23.1%）が高くなっている。



(3) 住まい周辺の線について

住まい周辺の線について「変わらない」が51.5%

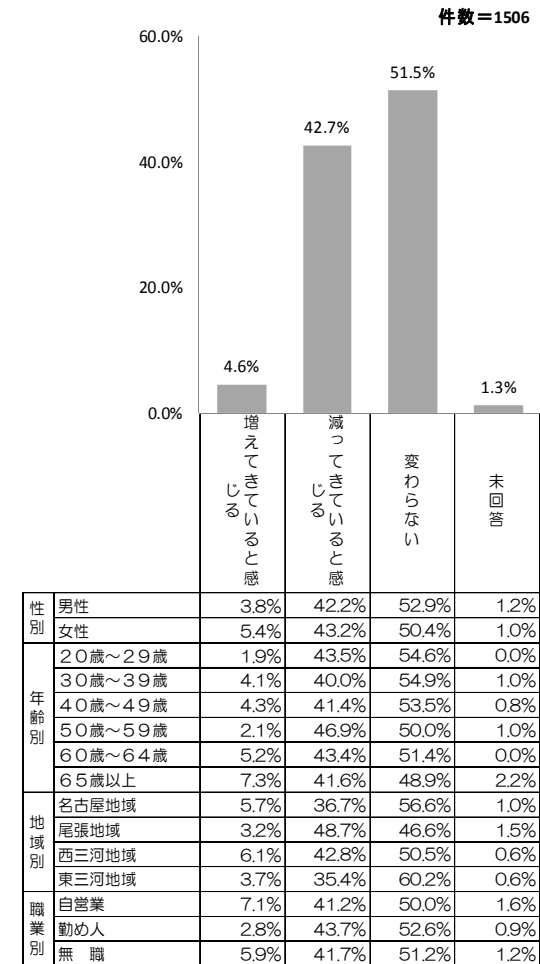
問V-3 あなたの住まいの周辺（半径1～2 km程度）の線についてどのように感じますか。（〇は1つ）



あなたの住まいの周辺（半径1～2 km程度）の線についてどのように感じますか。との問いに対して「増えてきていると感じる」と答えた人の割合は4.6%あり、「変わらない」と答えた人の割合は51.5%ある。一方で「減ってきていると感じる」と答えた人の割合は42.7%ある。

住まい周辺の線について（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◆性別で見ると、「増えてきていると感じる」と答えた人の割合で女性（5.4%）が高くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「増えてきていると感じる」と答えた人の割合は65歳以上（7.3%）が最も高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「減ってきていると感じる」と答えた人の割合で尾張地域（48.7%）が高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「増えてきていると感じる」と答えた人の割合で勤め人（2.8%）が低くなっている。

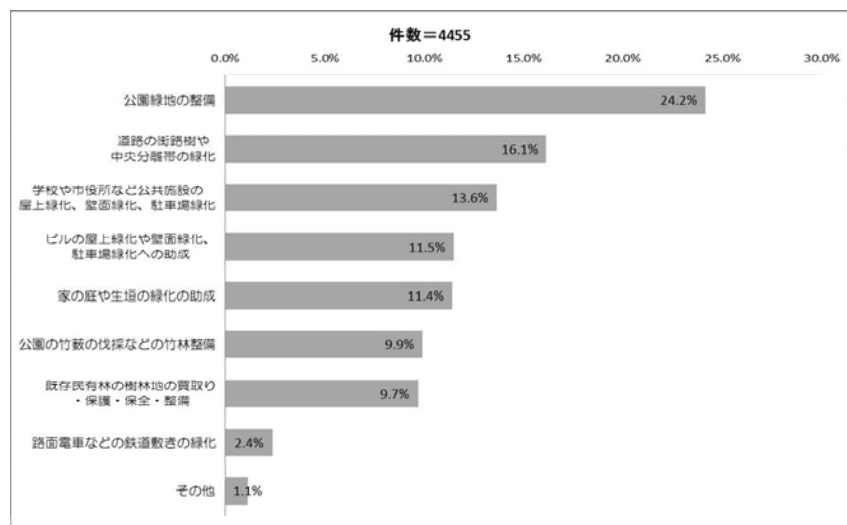


(4) 都市の緑を増やしていくための取組について

「公園緑地の整備」が24.2%

問V-4 今後、さらに都市の緑を増やしていくために、愛知県や市町村にどのような取組を望んでいますか。

(複数回答可)



都市の緑を増やしていくために、どのような取組を望むかについて、「公園緑地の整備」と答えた人の割合が24.2%と最も高く、次いで「道路の街路樹や中央分離帯の整備」が16.1%、「学校や市役所などの公共施設の屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化」が13.6%と順に高くなっている。

「その他」の具体的な案としては、「木造建築物を増やす」、「現状の緑をどう活かすか考える」、「個人や事業主が緑化推進を自発的にする」などがある。

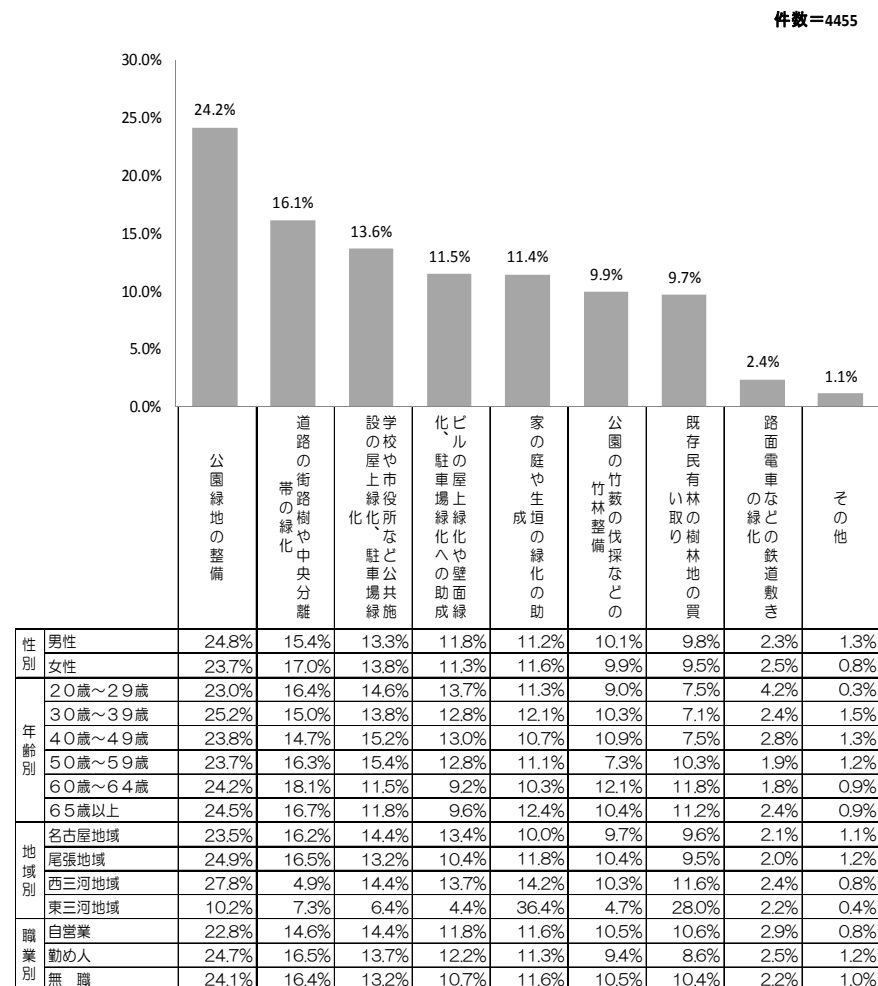
都市の緑を増やしていくための取組について（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「公園緑地の整備」と答えた人は男女とも一番高くなっている。

◆年齢別で見ると、40代では「学校や市役所などの公共施設の屋上緑化、壁面緑化、駐車場緑化」が(15.2%)と二番目に高くなっている。

◆地域別で見ると、東三河地域では「家の庭や生垣の緑化の助成」が一番になっている。さらに全体で二番目に選ばれた「道路の街路樹や中央分離帯の整備」が西三河地域では7番目、東三河地域では4番目に選ばれるなど地域により違いがある。

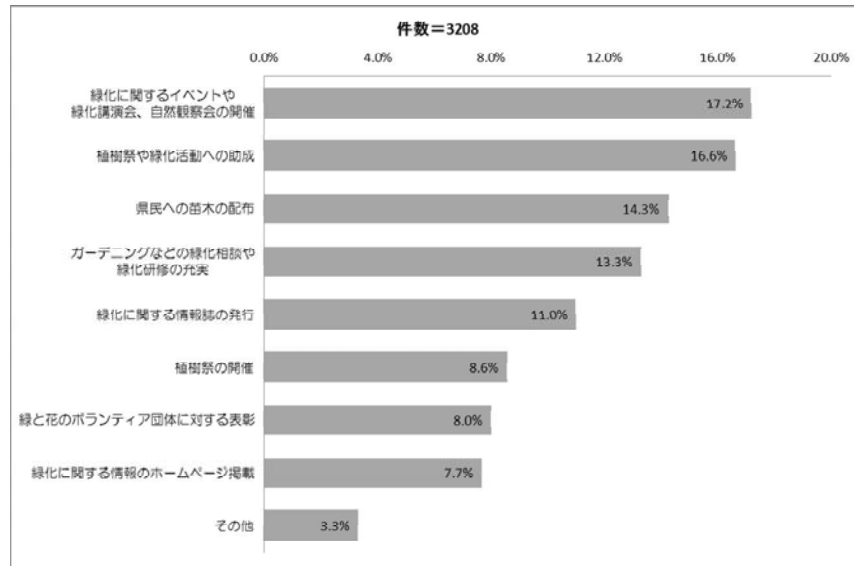
◆職業別では、属性による回答の大きな差は見られない。



(5) 都市の緑に関心を持つための取組について

「緑地に関するイベントや緑化講演会、自然観察会の開催」が17.2%

問V-5 あなたが、今よりも都市の緑に関心や関わりをもてるようになるには、愛知県や市町村にどのような取組を望みますか。(複数回答可)

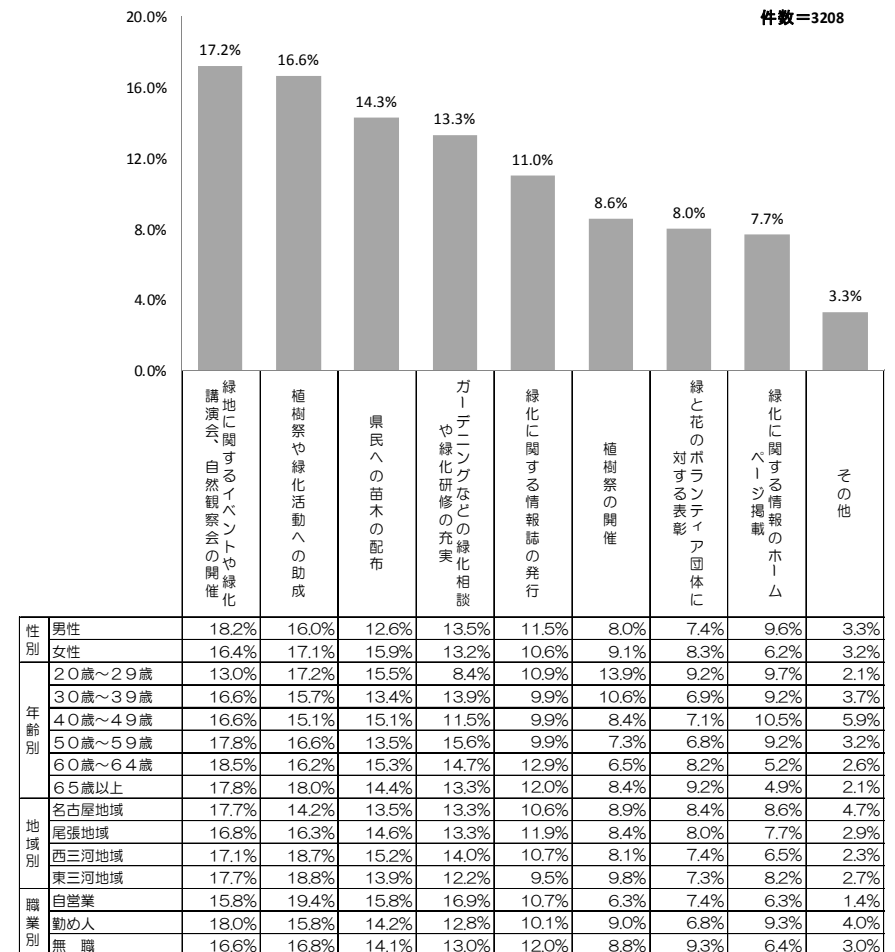


都市の緑に関心や関わりを持てるようになる取り組みとして望むものは、「緑地に関するイベントや緑化講演会、自然観察会の開催」が17.2%あり、次いで「植樹祭や緑化活動への助成」が16.6%、「県民への苗木の配布」が14.3%の順に高くなっている。

「その他」の具体的な案としては、「TV等による公告、宣伝活動」、「学校教育の一環で体験する」、「体験会などの実施」などがある。

都市の緑に関心を持つための取組について(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、女性は「植樹祭や緑化活動への助成」(17.1%)を回答した割合が一番高い
- ◆年齢別で見ると、「植樹祭や緑化活動への助成」と回答した割合は20代(17.2%)、次いで65歳以上(18.0%)の順に高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「植樹祭や緑化活動への助成」と回答した割合が東三河地域(18.8%)次いで西三河地域(18.7%)の順に高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「植樹祭や緑化活動への助成」と回答した割合は自営業(19.4%)と最も高くなっている。

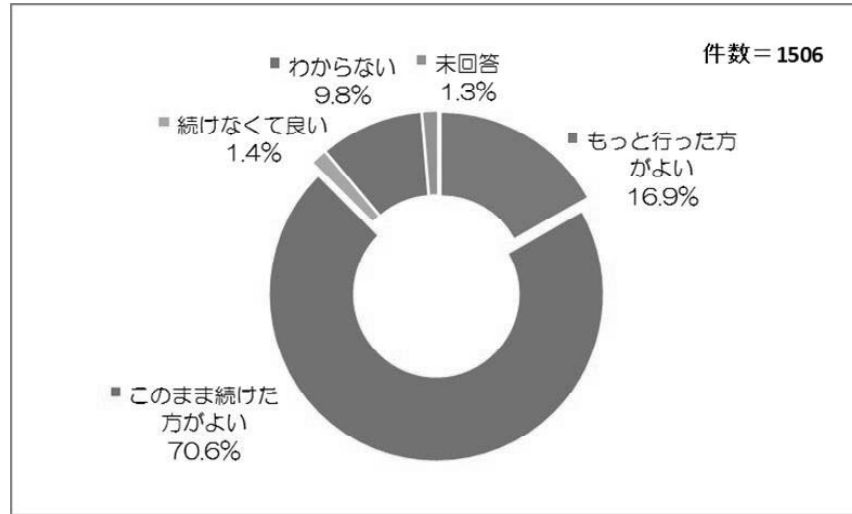


(6) 都市緑化推進事業の継続について

都市の緑を増やす取組を「このまま続けたほうが良い」が70.6%

問V-6 あいち森と緑づくり事業で、今後も都市の緑を増やす取組を続けた方が良いと思いますか。

(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で、今後も都市の緑を増やす取組を続けた方が良いと思いますか。との問いに対して「もっと行ったほうが良い」と答えた人の割合は16.9%あり、「このまま続けたほうが良い」と答えた人の割合は70.6%ある。一方で「続けなくて良い」と答えた人の割合は1.4%あり、「わからない」と答えた人の割合は9.8%ある。

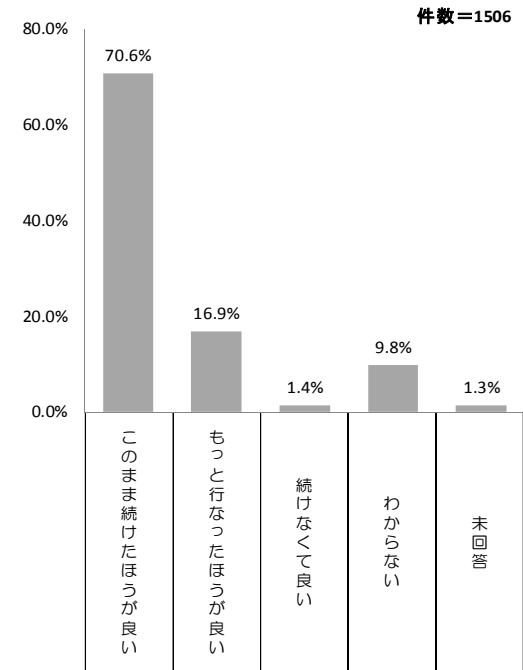
「続けなくて良い」の理由としては、「現状でよい」、「里山林道の整備以外は、税金のムダ使いと思う」、「特に事業というのではなく、自治体の当然の責務」などがある。

(7) その他、都市緑化推進に対する自由意見

「温暖化防止や環境のため緑化は必要」、「緑をもっと増やしてほしい」、「事業のPRが必要」、「事業を継続してほしい」、「街路樹の管理と整備をしてほしい」、「公園の緑地整備をしてほしい」などがある。

都市緑化推進事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「続けなくてよい」と答えた人の割合は男性(2.5%)に対し女性(0.3%)が低い。
- ◆年齢別で見ると、「このまま続けたほうが良い」と答えた人の割合は30代(73.3%)が最も高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「続けなくてよい」と答えた人の割合は西三河地域(0.6%)が低くなっている。
- ◆職業別で見ると、「続けなくてよい」と答えた人の割合は自営業(2.2%)が高くなっている。



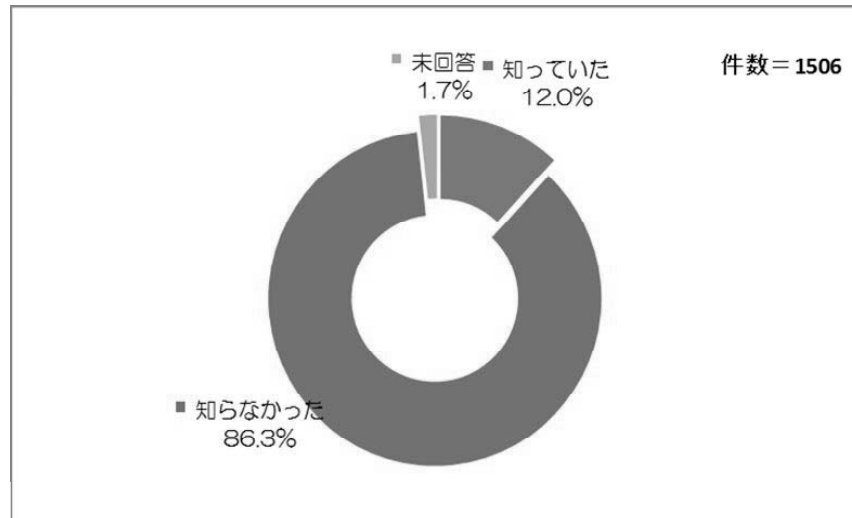
性別	男性	70.6%	16.9%	1.4%	9.8%	1.3%
女性	67.8%	18.5%	2.5%	10.3%	1.0%	
年齢別	20歳~29歳	73.2%	15.5%	0.3%	9.7%	1.3%
	30歳~39歳	68.5%	18.5%	0.0%	11.1%	1.9%
	40歳~49歳	73.3%	13.8%	1.0%	11.3%	0.5%
	50歳~59歳	70.3%	14.5%	2.3%	12.5%	0.4%
	60歳~64歳	68.4%	18.4%	2.1%	10.4%	0.7%
	65歳以上	67.9%	19.3%	0.5%	11.3%	0.9%
地域別	名古屋地域	73.0%	17.3%	1.0%	6.6%	2.2%
	尾張地域	71.0%	19.1%	2.0%	7.9%	0.0%
	西三河地域	67.7%	18.4%	1.0%	11.3%	1.7%
	東三河地域	72.7%	14.5%	0.6%	10.3%	1.9%
職業別	自営業	77.0%	11.2%	1.9%	9.3%	0.6%
	勤め人	72.0%	14.8%	2.2%	9.3%	1.6%
	無職	70.7%	16.7%	1.3%	10.7%	0.6%
		70.8%	17.5%	1.0%	9.1%	1.7%

VI 環境活動・学習事業について

(1) 環境活動・学習事業についての認知度

「自然環境保全活動」や、「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを「知らなかった」が86.3%

問VI-1 里地・里山などで間伐、下草刈り、植樹などを行う「自然環境保全活動」や、森林作業の体験教室や自然観察会といった「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを知っていましたか。(〇は1つ)

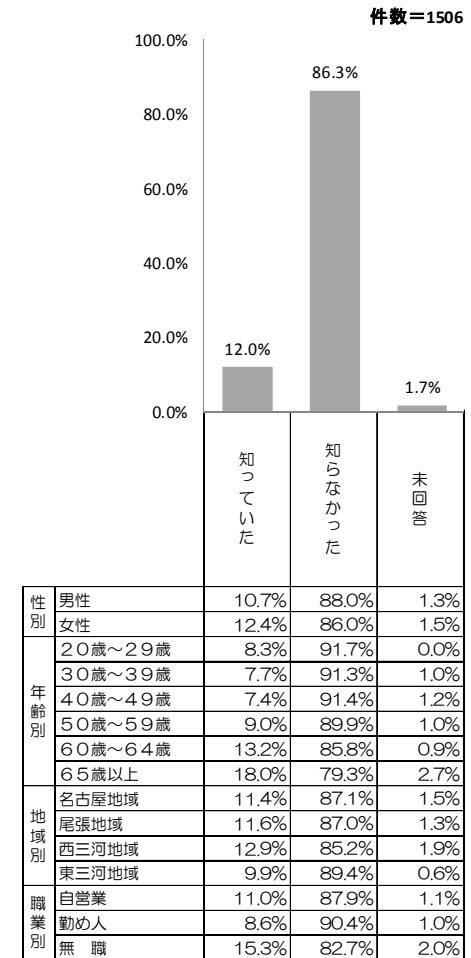


「自然環境保全活動」や、「環境学習」を、あいち森と緑づくり事業で支援していることを「知っていた」答えた人の割合は12.0%と低く、「知らなかった」と答えた人の割合は86.3%と高くなっている。

※「環境活動・学習事業」とは、市町村やNPO、ボランティア団体等が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習を公募し、事業実施に必要な経費（資材の購入、外部講師の謝金など）を交付金で支援する事業。

環境活動・学習事業についての認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は男性（10.7%）が低くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は65歳以上（18.0%）が高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「知らなかった」と答えた人の割合は東三河地域（89.4%）が高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は勤め人（8.6%）が低くなっている。

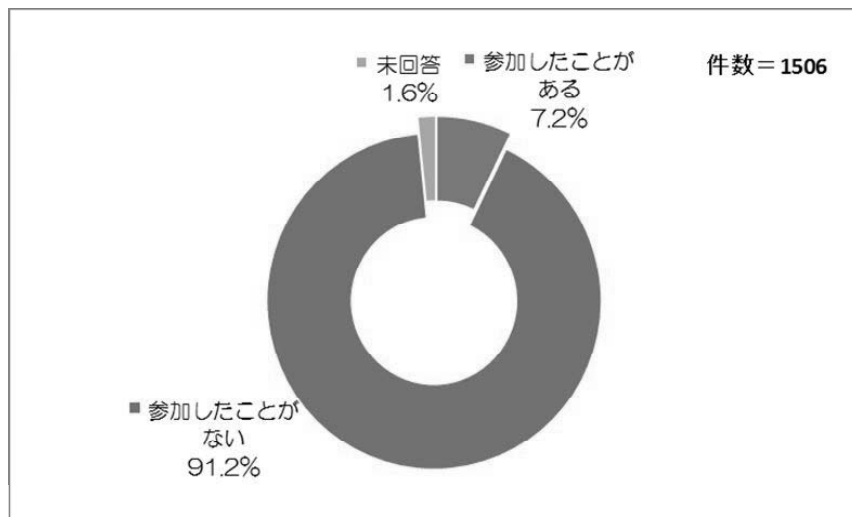


(2) 「自然保護活動」や「環境学習」の参加の有無

「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したことがない」91.2%

問VI-2 これまでに「自然環境保全活動」や「環境学習」に参加したことがありますか。

(〇は1つ)



「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したことがある」と答えた人は7.2%にとどまり、一方で「参加したことがない」と答えた人は91.2%と高くなっている。

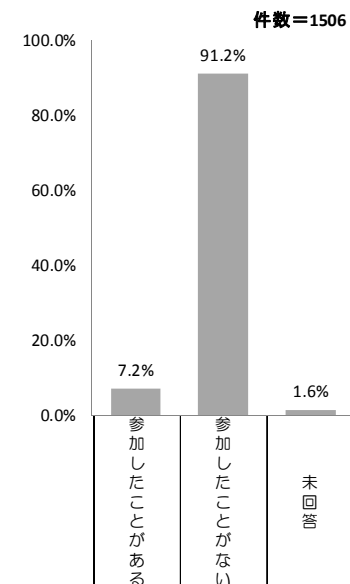
「自然保護活動」や「環境学習」の参加の有無（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「参加したことがない」と答えた人の割合で、男性（91.2%）と女性（92.1%）との差は小さい。

◆年齢別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は30代（5.6%）が最も低くなっている。

◆地域別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は名古屋地域（4.5%）が最も低くなっている。

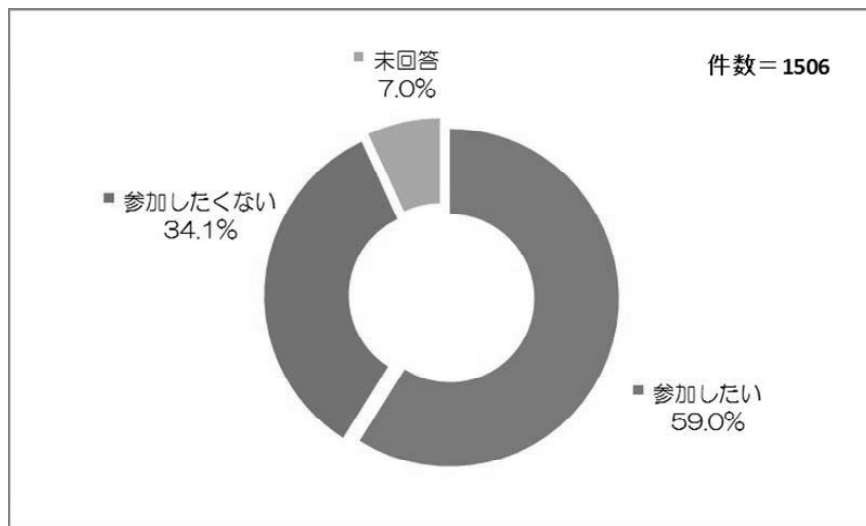
◆職業別で見ると、「参加したことがある」と答えた人の割合は自営業（8.8%）が高くなっている。



性別	参加したことがある	参加したことがない	未回答
20歳～29歳	8.3%	91.7%	0.0%
30歳～39歳	5.6%	93.8%	0.5%
40歳～49歳	7.4%	91.4%	1.2%
50歳～59歳	7.6%	91.3%	1.0%
60歳～64歳	6.6%	92.0%	1.4%
65歳以上	7.3%	90.8%	1.9%
名古屋地域	4.5%	94.3%	1.2%
尾張地域	8.2%	90.6%	1.2%
西三河地域	7.7%	90.7%	1.6%
東三河地域	8.7%	90.7%	0.6%
自営業	8.8%	90.1%	1.1%
勤め人	6.8%	92.3%	0.9%
無職	6.9%	91.4%	1.7%

(3) 「自然保護活動」や「環境学習」の参加意識
 「自然保護活動」や「環境学習」に「参加したい」が59.0%

問VI-3 あなたの身の回りで「自然環境保全活動」や「環境学習」が実施された場合、参加したいと思いませんか。(〇は1つ)



「自然環境保全活動」や「環境学習」に「参加したい」と答えた人の割合は59.0%あり、「参加したくない」と答えた人の割合は34.1%ある。

「参加したくない」の理由としては、「忙しい」、「高齢」、「体調不良」、「興味がない」などがある。

「自然保護活動」や「環境学習」の参加意識（性別、年齢別、地域別、職業別）

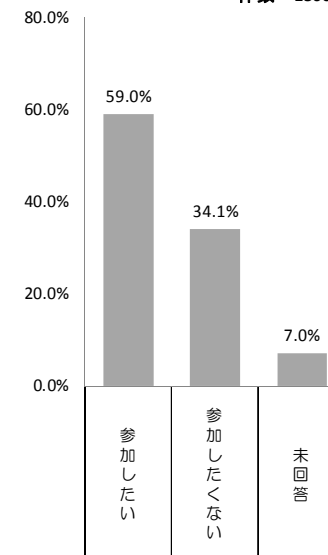
◆性別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は男性（61.7%）と女性（56.6%）とでは5.2ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は60歳～64歳（63.7%）が最も高くなっている。

◆地域別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は西三河地域（64.6%）、次いで東三河地域（60.9%）の順に高くなっている。

◆職業別で見ると、「参加したい」と答えた人の割合は勤め人（60.7%）が高くなっている。

件数=1506

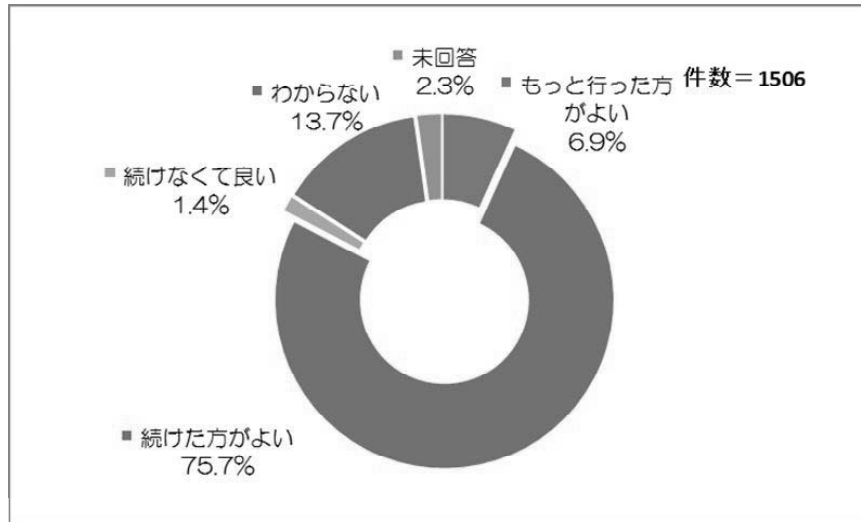


性別	参加したい	参加したくない	未回答	
男性	61.7%	33.4%	4.9%	
女性	56.5%	35.1%	8.3%	
年齢別	20歳～29歳	61.1%	36.1%	2.8%
	30歳～39歳	58.5%	37.4%	4.1%
	40歳～49歳	55.9%	39.1%	5.1%
	50歳～59歳	60.4%	34.0%	5.6%
	60歳～64歳	63.7%	30.2%	6.1%
	65歳以上	56.9%	31.9%	11.2%
地域別	名古屋地域	55.8%	38.7%	5.5%
	尾張地域	57.7%	34.3%	7.9%
	西三河地域	64.6%	29.9%	5.5%
	東三河地域	60.9%	31.7%	7.5%
職業別	自営業	56.6%	36.8%	6.6%
	勤め人	60.7%	34.4%	4.9%
	無職	57.9%	33.3%	8.7%

(4) 環境活動・学習事業の継続について

「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を「続けたほうが良い」が75.7%

問VI-4 あいち森と緑づくり事業で、今後も「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を続けた方が良いと思いますか。(〇は1つ)



あいち森と緑づくり事業で、今後も「自然環境保全活動」や「環境学習」の支援を続けた方が良いと思いますか。との問いに対して「もっと行ったほうが良い」と答えた人の割合は6.9%、「続けたほうが良い」と答えた人の割合は75.7%ある。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.4%、「わからない」と答えた人の割合は13.7%ある。

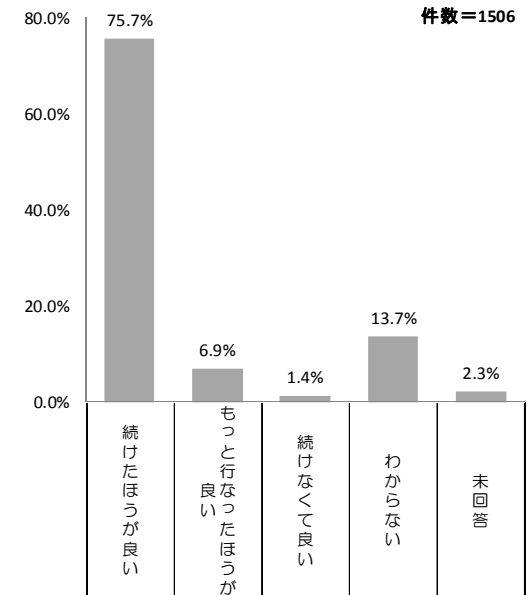
「続けなくてよい」の理由としては、「必要を感じない」、「学習でなく、森作りの参加」、「効果次第」などがある。

(5) その他、自然環境保全活動、環境学習に対する自由意見

「学校教育の中に積極的に取り入れてほしい」、「事業のPRが必要」、「気軽に参加できる活動があるとよい」、「大勢の人が参加出来ると良い」、「体験型の学習会に参加したい」、「活動を継続してほしい」などがある。

環境活動・学習事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「続けなくてよい」と答えた人の割合は女性(0.3%)が低くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「続けなくてよい」と答えた人の割合は40代(2.3%)が高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「続けたほうが良い」と答えた人の割合は東三河地域(80.1%)が高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「続けたほうが良い」と答えた人の割合は自営業(83.0%)が高くなっている。



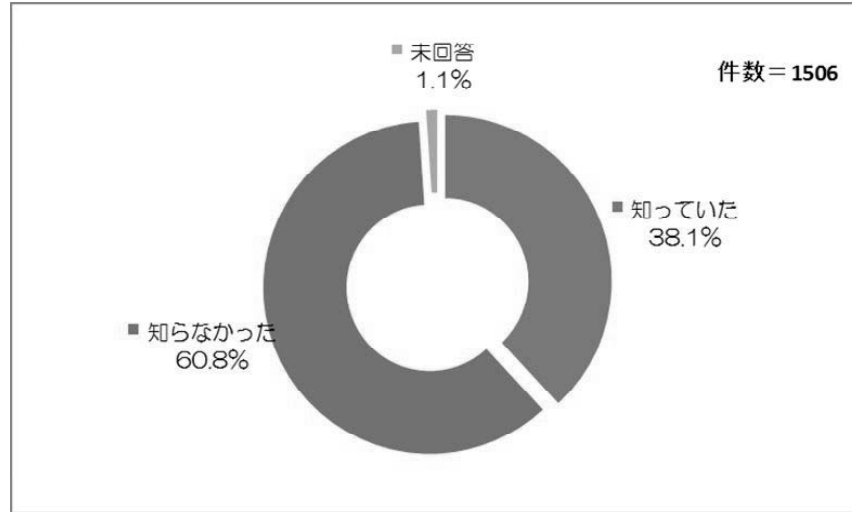
性別	男性	74.3%	8.2%	2.6%	13.6%	1.3%
女性		77.2%	5.9%	0.3%	14.2%	2.4%
年齢別	20歳～29歳	65.7%	10.2%	0.0%	23.1%	0.9%
	30歳～39歳	77.9%	4.6%	1.0%	15.9%	0.5%
	40歳～49歳	73.0%	5.5%	2.3%	17.6%	1.6%
	50歳～59歳	77.1%	7.3%	2.1%	11.8%	1.7%
	60歳～64歳	73.6%	12.3%	0.5%	12.3%	1.4%
	65歳以上	79.3%	5.4%	1.2%	10.7%	3.4%
地域別	名古屋地域	76.2%	6.7%	2.0%	13.4%	1.7%
	尾張地域	73.6%	7.2%	1.2%	15.7%	2.4%
	西三河地域	77.8%	6.8%	0.6%	13.2%	1.6%
	東三河地域	80.1%	7.5%	1.9%	9.3%	1.2%
職業別	自営業	83.0%	4.9%	1.1%	9.9%	1.1%
	勤め人	74.2%	7.3%	1.5%	15.7%	1.3%
	無職	75.9%	7.1%	1.3%	12.9%	2.8%

Ⅶ 木の香る学校づくり推進事業について

(1) 愛知県産木材の利用と森林整備のかかりについて

愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを「知らなかった」が60.8%

問Ⅶ-1 愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを知っていましたか。
(〇は1つ)

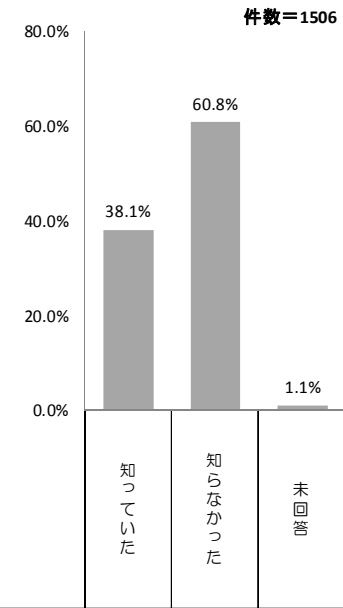


愛知県産の木材製品を使うことが、地域の森林整備につながることを知っていましたか。の問いに対して「知っていた」と答えた人の割合は38.1%ある。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は60.8%と高くなっている。

※「木の香る学校づくり推進事業」とは、公立小中学校の子どもたち用に、愛知県産木材を利用した机・椅子を導入する事業。愛知県産の木が使われれば、地域の森林が整備されることにつながります。

愛知県産木材の利用と森林整備のかかりについて（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は男性（39.9%）が高くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は65歳以上（49.6%）が高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は東三河地域（45.3%）が高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は自営業（44.5%）に対して勤め人（34.8%）は9.7ポイント低くなっている。

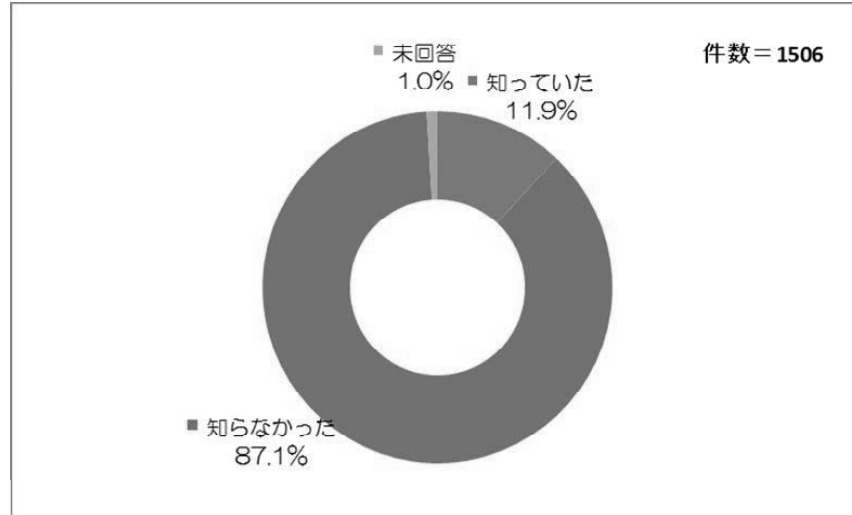


性別	男性	39.9%	59.7%	0.4%
女性	36.5%	63.1%	0.4%	
年齢別	20歳～29歳	18.5%	81.5%	0.0%
	30歳～39歳	29.7%	69.7%	0.5%
	40歳～49歳	32.4%	67.2%	0.4%
	50歳～59歳	35.4%	64.6%	0.0%
	60歳～64歳	43.4%	56.6%	0.0%
	65歳以上	49.6%	49.4%	1.0%
地域別	名古屋地域	37.0%	62.5%	0.5%
	尾張地域	36.9%	63.0%	0.2%
	西三河地域	38.3%	61.1%	0.6%
	東三河地域	45.3%	54.0%	0.6%
職業別	自営業	44.5%	54.9%	0.5%
	勤め人	34.8%	64.9%	0.3%
	無職	40.4%	59.1%	0.5%

(2) 木の香る学校づくり推進事業の認知度

木の香る学校づくり推進事業を「知らなかった」87.1%

問Ⅶ-2 木の香る学校づくり推進事業を知っていましたか。(〇は1つ)



木の香る学校づくり推進事業を「知っていた」と答えた人の割合は11.9%と少ない。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は87.1%と高くなっている。

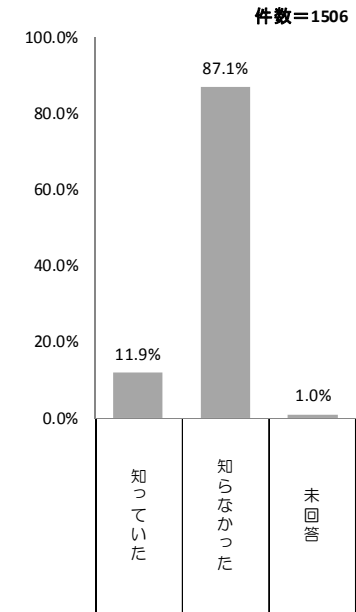
木の香る学校づくり推進事業の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は女性（13.5%）が高くなっている。

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は65歳以上（19.5%）、次いで60歳～64歳（12.3%）の順に高くなっている。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は名古屋地域（9.7%）が低くなっている。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は勤め人（8.9%）が低くなっている。

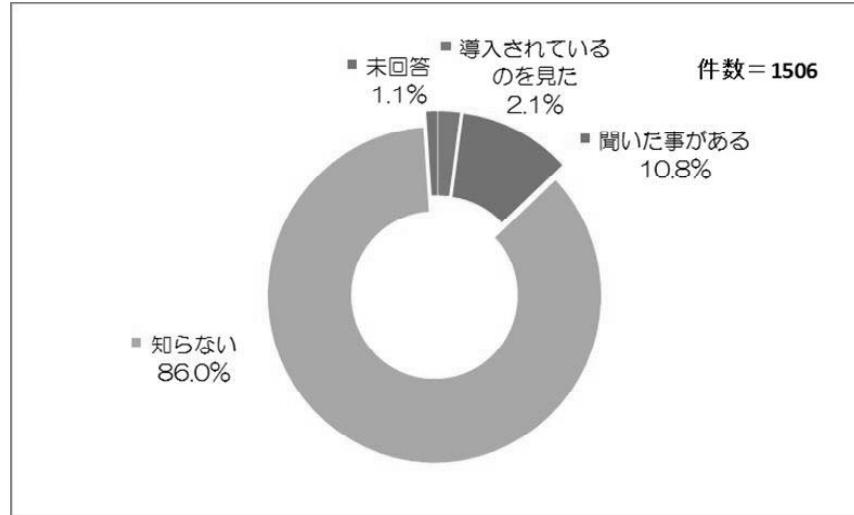


性別	男性	女性				
性別	10.4%	13.5%				
年齢別	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上
	4.6%	6.2%	10.9%	9.0%	12.3%	19.5%
地域別	名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域		
	9.7%	11.4%	15.1%	14.3%		
職業別	自営業	勤め人	無職			
	11.5%	8.9%	15.8%			

(3) 愛知県産木材製品の学校施設への導入状況

周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が導入されている事を「知らない」が86.0%

問Ⅶ-3 あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子※が導入されていますか。(〇は1つ)

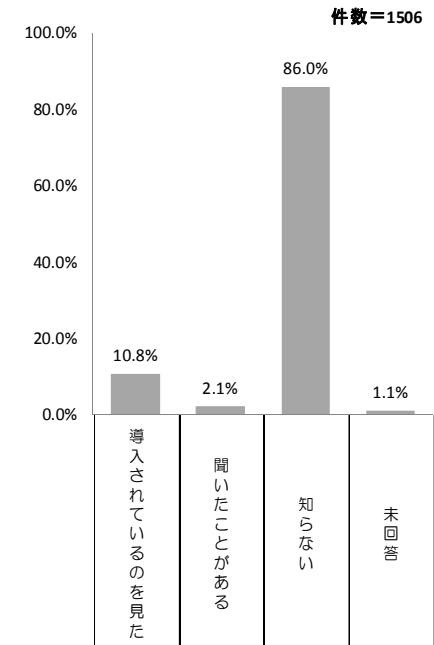


あなたの周りの学校で愛知県産木材を使った木製机・椅子が「導入されているのを見た」と答えた人の割合は2.1%、「聞いたことがある」と答えた人の割合は10.8%あるのに対し、「知らない」と答えた人の割合は86.0%と高くなっている。

※木製机・椅子とは、机・椅子の全てが木製だけではなく、一部分にでも愛知県産木材が使用されているものです。

愛知県産木材製品の学校施設への導入状況(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「導入されているのを見た」と答えた人の割合は女性(3.1%)が高くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「聞いたことがある」と答えた人の割合は65歳以上(16.3%)が最も高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「導入されているのを見た」と答えた人の割合は東三河地域(4.3%)次いで西三河地域(3.2%)の順に高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「知らない」と答えた人の割合で勤め人(88.4%)が高くなっている。

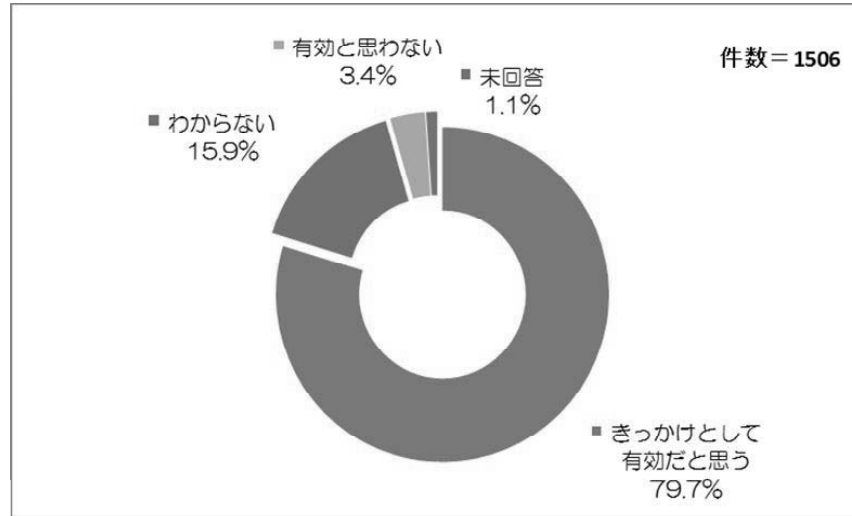


性別	男性	女性
性別	1.2%	3.1%
年齢別	2.0歳~29歳	2.1%
年齢別	30歳~39歳	2.1%
年齢別	40歳~49歳	3.5%
年齢別	50歳~59歳	1.4%
年齢別	60歳~64歳	2.4%
年齢別	65歳以上	1.7%
地域別	名古屋地域	1.0%
地域別	尾張地域	1.9%
地域別	西三河地域	3.2%
地域別	東三河地域	4.3%
職業別	自営業	2.2%
職業別	勤め人	2.2%
職業別	無職	2.1%

(4) 愛知県産木材製品の導入の有効性について

子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知るきっかけとして「きっかけとして有効と思う」が79.7%

問Ⅶ-4 愛知県産木材を使った木製机・椅子の導入は、子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知るきっかけとして有効だと思いますか。(〇は1つ)



愛知県産木材を使った木製机・椅子の導入は、子どもたちが森林整備の意義や木のあたたかさを知るきっかけとして有効だと思いますか。との問いに対して「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は79.7%と高くなっている。一方で「わからない」と答えた人の割合は15.9%、「有効と思わない」と答えた人の割合は3.4%ある。

「有効と思わない」の理由としては、「学習の中で説明が必要」、「子供はあまり気にしないと思う」、「現状のイスの方が価格・機能が良い」などがある。

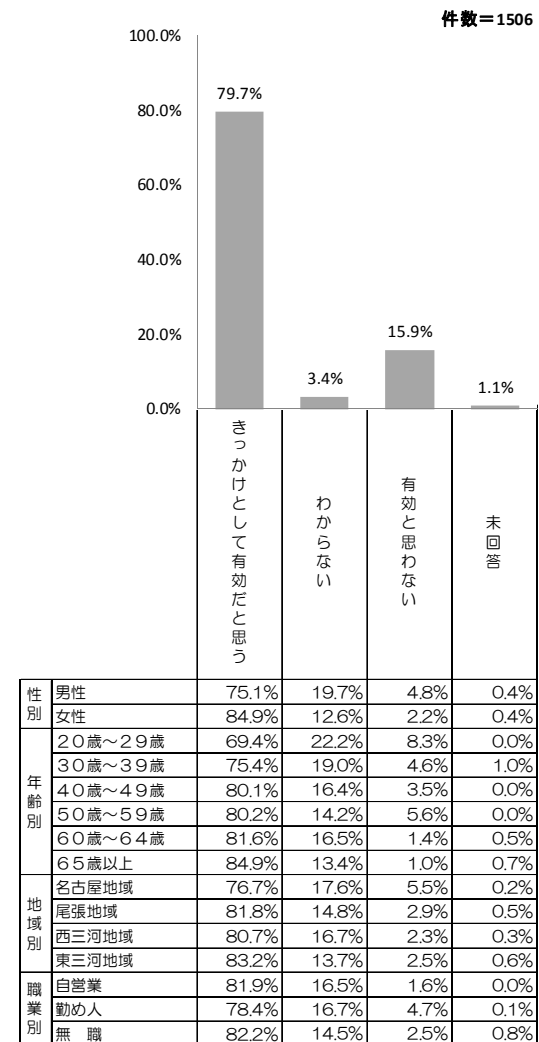
愛知県産木材製品の導入の有効性について（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は男性（75.1%）と女性（84.9%）とでは9.8ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、「有効と思わない」と答えた人の割合は20代（8.3%）が最も高い。

◆地域別で見ると、「有効と思わない」と答えた人の割合は名古屋地域（5.5%）が高くなっている。

◆職業別で見ると、「きっかけとして有効だと思う」と答えた人の割合は無職（82.2%）が高くなっている。

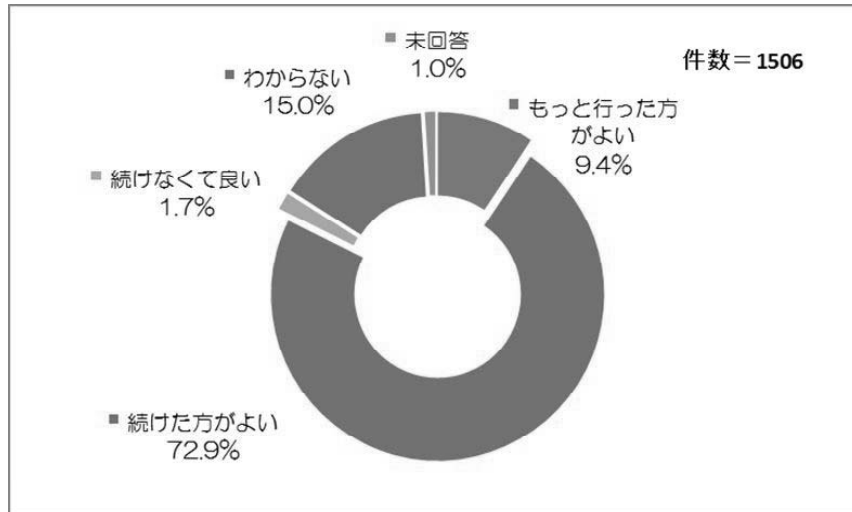


(5) 木の香る学校づくり推進事業の継続について

「木の香る学校づくり推進事業」を「続けたほうが良い」が72.9%

問Ⅶ-5 あいち森と緑づくり事業で今後も「木の香る学校づくり推進事業」を続けた方が良いと思いますか。

(〇は1つ)

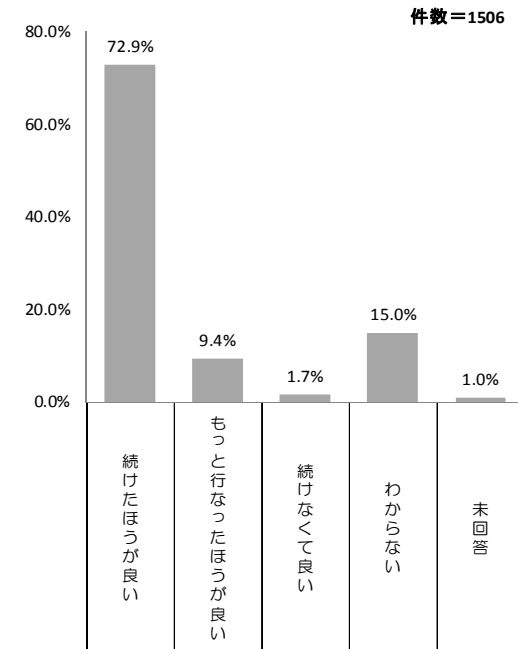


あいち森と緑づくり事業で今後も「木の香る学校づくり推進事業」を続けた方が良いと思いますか。との問いに対して「もっと行ったほうが良い」と答えた人の割合は9.4%、「続けたほうが良い」と答えた人の割合は(72.9%)と高くなっている。一方で「続けなくてよい」と答えた人の割合は1.7%、「わからない」と答えた人の割合は15.0%ある。

「続けなくて良い」の理由としては、「費用がかかりすぎる」、「効果がわからない」、「公共施設で木材を活用した方がよい」などがある。

木の香る学校づくり推進事業の継続について(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「続けなくてよい」と答えた人の割合は女性(0.3%)が低くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「続けなくてよい」と答えた人の割合が50代(2.8%)が高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「続けなくてよい」と答えた人の割合は西三河地域(0.6%)が低くなっている。
- ◆職業別で見ると、「続けたほうが良い」と答えた人の割合は自営業(79.7%)が高くなっている。



性別	男性	69.8%	9.2%	3.2%	17.3%	0.4%
	女性	76.3%	10.0%	0.3%	13.2%	0.3%
年齢別	20歳～29歳	64.8%	7.4%	0.9%	26.9%	0.0%
	30歳～39歳	69.2%	12.3%	1.5%	16.4%	0.5%
	40歳～49歳	70.7%	10.5%	2.0%	16.8%	0.0%
	50歳～59歳	70.8%	11.1%	2.8%	15.3%	0.0%
	60歳～64歳	75.5%	10.4%	0.5%	13.7%	0.0%
	65歳以上	79.3%	7.1%	1.5%	11.2%	1.0%
地域別	名古屋地域	72.2%	9.2%	2.5%	15.9%	0.2%
	尾張地域	72.6%	9.1%	1.3%	16.7%	0.3%
	西三河地域	76.2%	9.3%	0.6%	13.5%	0.3%
	東三河地域	73.3%	13.7%	2.5%	9.9%	0.6%
職業別	自営業	79.7%	6.0%	1.6%	12.6%	0.0%
	勤め人	70.7%	11.0%	1.8%	16.4%	0.1%
	無職	74.4%	9.2%	1.5%	14.2%	0.7%

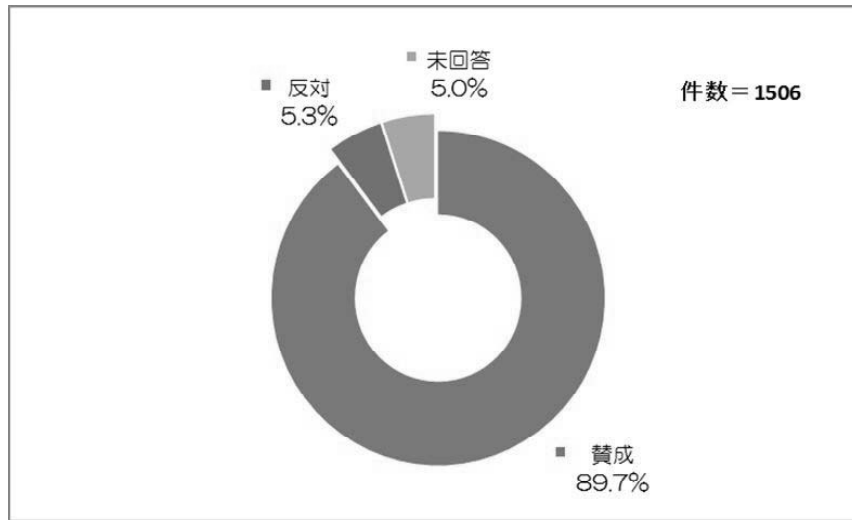
Ⅷ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

(1) 「あいち森と緑づくり事業」の継続について

「あいち森と緑づくり事業」の継続について「賛成」89.7%

問Ⅶ-1 県内には、手入れが必要で、様々な公益的機能の低下が心配される森と緑がまだ多く残されています。愛知県は「あいち森と緑づくり税」を継続して、森と緑を守り育てる取り組みを続けたいと考えていますが、この取り組みの継続についてどのように思いますか。

(〇は1つ)

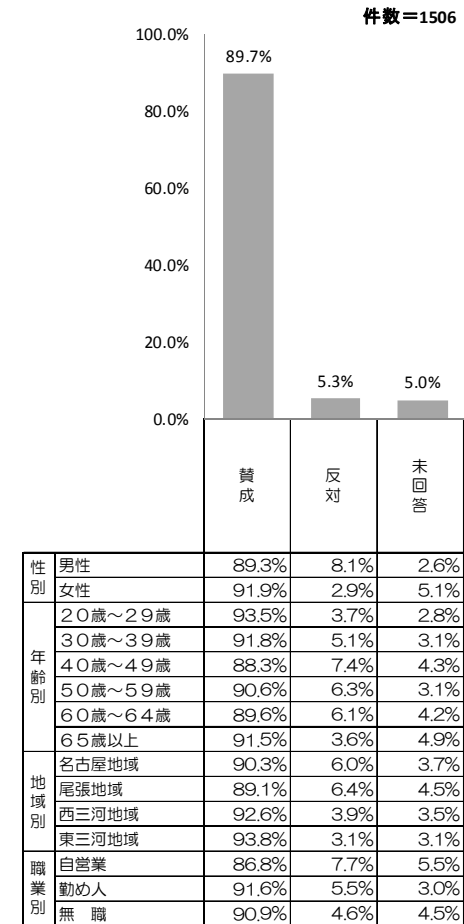


「あいち森と緑づくり税」の継続について「賛成」と答えた人の割合は89.7%と高くなっている。一方で「反対」と答えた人の割合は5.3%ある。

「反対」の理由としては、「増税に反対」、「新たな税は必要ない」、「税金で行う事ではない」、「税金の使い道が不明」、「効果がわからない」などがある。

「あいち森と緑づくり事業」の継続について（性別、年齢別、地域別、職業別）

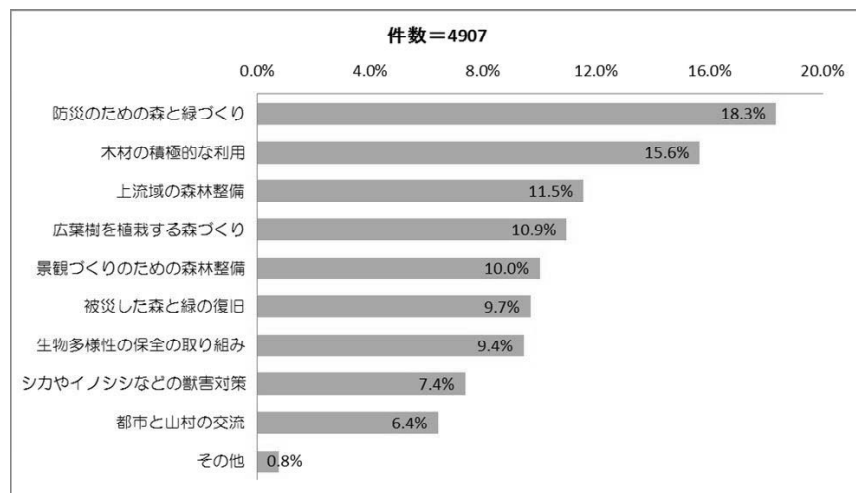
- ◆性別で見ると、「反対」と答えた人の割合は男性（8.1%）が高くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「賛成」と答えた人の割合は20代（93.5%）が最も高くなっている。
- ◆地域別で見ると、「賛成」と答えた人の割合は東三河地域（93.8%）次いで西三河地域（92.6%）の順に高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「反対」と答えた人の割合は自営業（7.7%）が高くなっている。



(2) 「あいち森と緑づくり事業」の新たな取組について

「防災のための森と緑づくり」が18.3%

問Ⅶ-2 「あいち森と緑づくり税」を活用して、今後取り組みを検討したほうがよいと思われるものはありますか。(複数回答可)



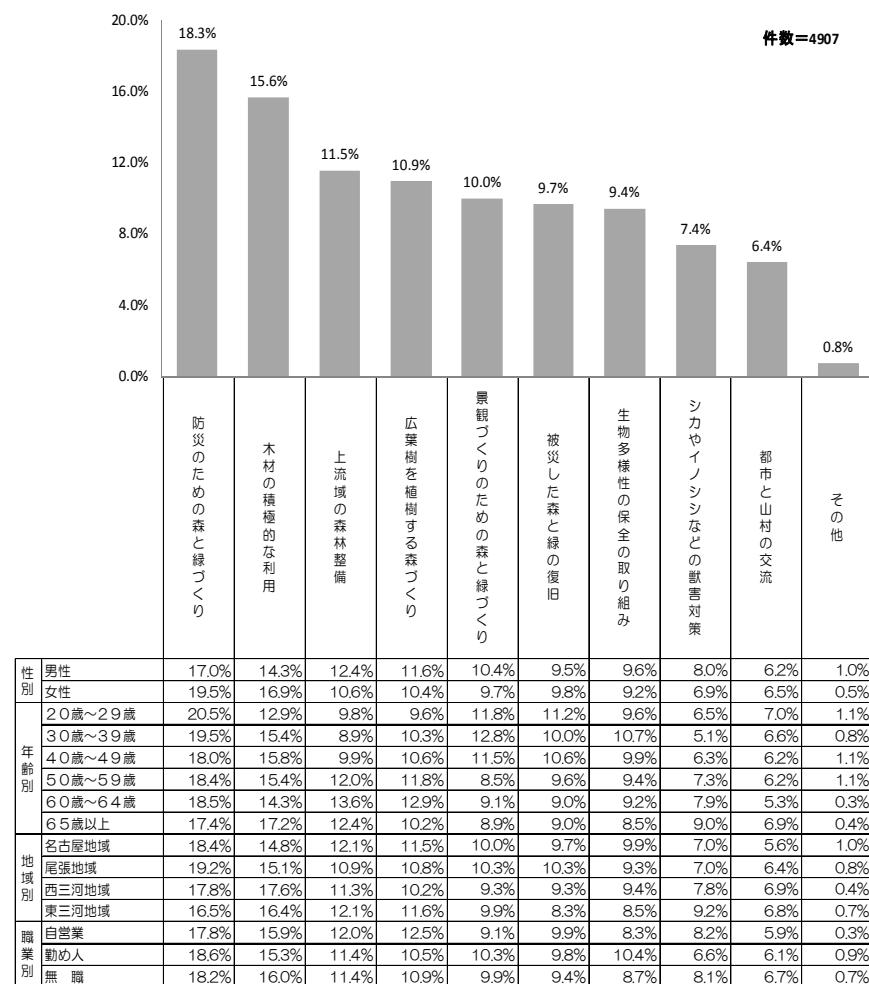
「あいち森と緑づくり税」を活用して、「防災のための森と緑づくり」を回答した人の割合は18.3%と最も高く、次いで「木材の積極的な利用」を回答した人の割合が15.6%、「上流域の森林整備」と回答した人の割合は11.5%の順にある。

具体的な案としては、「植樹」、「子供を対象とした活動」などがある。

「あいち森と緑づくり事業」の新たな取組について

(性別、年齢別、地域別、職業別)

- ◆性別で見ると、「防災のための森と緑づくり」を回答した人の割合は女性(19.5%)が高くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「防災のための森と緑づくり」を回答した人の割合は年代による変化はあまり見られない。
- ◆地域別で見ると、「防災のための森と緑づくり」を回答した人の割合は尾張地域(19.2%)、次いで名古屋地域(18.4%)の順に高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「防災のための森と緑づくり」と答えた人の割合は勤め人(18.6%)が高くなっている。

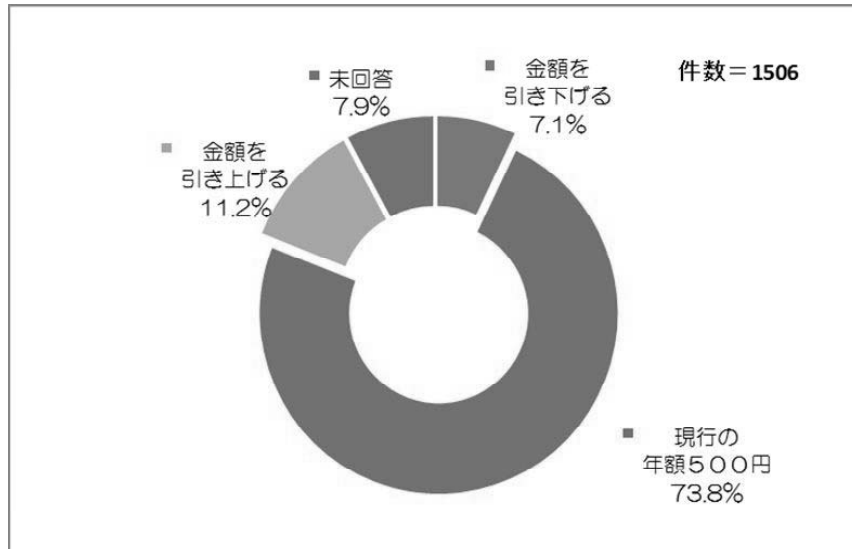


(3) 「あいち森と緑づくり税」の負担額について

「あいち森と緑づくり税」の今後の負担額について「現行の年額500円」が73.8%

問Ⅶ-3 「あいち森と緑づくり税」を今後も継続する場合、個人の方の負担はどの程度が適当と思いますか。

(〇は1つ)



「あいち森と緑づくり税」を今後も継続する場合、個人の方の負担はどの程度が適当と思いますか。との問いに対して「現行の年額500円」と回答した人の割合は73.8%と最も多く、次いで「金額を引き上げる」と回答した人の割合は11.2%あり、「引き下げる」と回答した人の割合は7.1%と最も少なかった。

「金額を引き上げる」の意見としては多い順に、「1,000円」、「800円」、「700円」、「1,200円」、「5,000円」などがある。

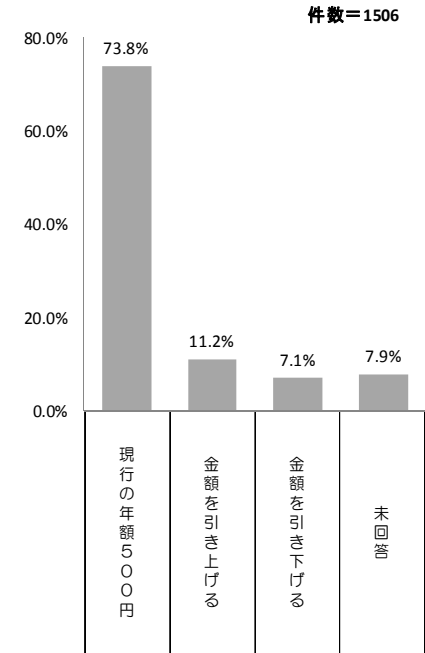
「金額を引き下げる」の意見としては多い順に、「300円」、「0円」、「100円」、「200円」、「400円」などがある。

(4) その他、「あいち森と緑づくり税」、「あいち森と緑づくり事業」に対する自由意見

「事業のPRが必要」、「税を正しい使い道で使用してほしい」、「事業を継続してほしい」、「森を守ることに賛成」、「緑を増やしてほしい」、「活動を継続してほしい」、「事業計画、予算、成果を公表してほしい」、「民間事業でおこなうべき」、「所有者が行うべき」などがある。

「あいち森と緑づくり税」の負担額について（性別、年齢別、地域別、職業別）

- ◆性別で見ると、「現行の年額500円」と答えた人の割合は女性（77.7%）が高くなっている。
- ◆年齢別で見ると、「金額を引き下げる」と回答した人の割合は20代（11.1%）が最も高くなっている
- ◆地域別で見ると、「金額を引き上げる」と回答した人の割合は名古屋地域（12.2%）が高くなっている。
- ◆職業別で見ると、「金額を引き下げる」と回答した人の割合は自営業（8.8%）が高くなっている。



属性	現行の年額500円	金額を引き上げる	金額を引き下げる	未回答
性別				
男性	71.2%	14.2%	8.1%	6.5%
女性	77.7%	8.8%	6.4%	7.1%
年齢別				
20歳～29歳	84.3%	3.7%	11.1%	0.9%
30歳～39歳	78.5%	8.7%	8.7%	4.1%
40歳～49歳	73.4%	12.1%	9.4%	5.1%
50歳～59歳	74.3%	12.5%	6.6%	6.6%
60歳～64歳	73.1%	13.2%	8.5%	5.2%
65歳以上	72.0%	12.4%	3.9%	11.7%
地域別				
名古屋地域	75.2%	12.2%	6.5%	6.2%
尾張地域	73.4%	10.9%	7.1%	8.6%
西三河地域	75.9%	11.6%	7.4%	5.1%
東三河地域	75.8%	10.6%	8.7%	5.0%
職業別				
自営業	71.4%	11.5%	8.8%	8.2%
勤め人	76.3%	11.6%	7.1%	5.0%
無職	73.9%	10.9%	6.9%	8.3%